

【目次】

1. 企画展「協調会結成 100 年—渋沢栄一と鈴木文治・友愛会—」が本日閉会、12 月 24 日！
2. 新企画展「日本のメーデー100 年—自由と団結の旗のもと—」は 1 月 6 日にオープン！
3. NPO 法人働く文化ネットの労働映画観賞会が開かれる、12 月 12 日
4. 連載「日本労働会館物語」第 77 回—友愛会を支えた経済学者・添田寿一！

1. 企画展「協調会結成 100 年—渋沢栄一と鈴木文治・友愛会—」が本日閉会、12 月 24 日！



友愛労働歴史館が 7 月 4 日（木）から開催していた企画展「協調会結成 100 年—渋沢栄一と鈴木文治・友愛会—」は、本 24 日に閉会いたしました。今回の企画展は①渋沢栄一と鈴木文治の出会いと別れ、②渋沢栄一が主導した初期の協調会への評価、③渋沢と鈴木が共有していた「人格の尊重」、に着目し企画したものです。

企画展関連行事として①友愛会創立を記念する会と共催で労働講座「渋沢栄一と鈴木文治・友愛会」（8 月 1 日、報告者：間宮悠紀雄友愛労働歴史館事務局長、同館研修室）を、また②労使関係研究協会と共催で講演会「渋沢栄一と鈴木文治・友愛会」（11 月 16 日、講師：井上潤渋沢史料館館長、友愛会館中会議室）を開催しました。同 16 日、企画展ミニ見学会も開催しました。

2. 新企画展「日本のメーデー100 年—自由と団結の旗のもと—」は 1 月 6 日にオープン！



友愛労働歴史館は 2020 年 1 月 6 日（月）から新しい企画展「日本のメーデー 100 年—自由と団結の旗のもと—」（2020. 1. 6～6. 30）を開催します。

日本で最初のメーデーが举行されたのは 1920（大正 9）年 5 月 2 日、東京・上野公園で友愛会を中心とする約 1 万人余の労働者が参加し開かれました。1936（昭和 11）年に起きた 2. 26 事件を契機にメーデー集会は禁止され、1940 年には全ての労働組合が解散に追い込まれて戦前期労働運動を終わります。戦後、1946（昭和 21）年 5 月 1 日にメーデーは復活し、2020 年で 100 年を迎えます。友愛労働歴史館はこれを記念し、企画展「日本のメーデー100 年—自由と団結の旗のもと—」を開催します。

企画展は第 1 部「メーデー前史（なぜ MAY DAY?）」、第 2 部「戦前のメーデー 非合法下の団結 1920 年 5 月 2 日～1936 年 5 月 1 日」、そして第 3 部「戦後のメーデー その変遷をたどる 1946 年 5 月 1 日～」の三部構成となっています。

3. NPO 働く文化ネットの労働映画観賞会が開かれる、12 月 12 日！

NPO 法人働く文化ネット第 64 回労働映画観賞会が 12 月 12 日（木）夜、連合会館で開かれました。上映映画は 1988 年のバブル経済の絶頂期にサラリーマンの黄昏を描いた『会社物語 MEMORIES OF YOU』（監督：市川準、松竹・99 分）。出演者はハナ肇&クレイジーキャッツのメンバーらで、ハナ肇が定年を迎える万年課長を演じました。当歴史館から間宮事務局長が参加。

4. 連載「日本労働会館物語」第77回—友愛会を支えた経済学者・添田寿一！



今回は友愛会を支えた大蔵官僚・経済学者で、日本興業銀行総裁や報知新聞社長などを務めた添田寿一（1864.9.15～1929.7.4）を紹介いたします。『ウィキペディア』は、「添田寿一（そえだ じゅいち、1864.9.15～1929.7.4）は、明治・大正期の財政家（大蔵官僚）・銀行家・実業家・経済学者・官庁エコノミスト。筑前（福岡県）の出身）。日本法律学校（現日本大学）の設立に加わった。」と紹介しています。



今年添田寿一の没後90年で、出身の福岡県遠賀町の『広報おんが』12月10号（右写真。水口一志氏提供）は添田寿一の特集を組んでいます。「特集 遠賀の偉人 官庁エコノミストの草分け 添田寿一」の見出しから始まる特集は、10頁にも亘ります。その6頁「社会政策の必要性に着目」では友愛会や協調会に言及した文章が掲載されています。「1912（大正元）年、友愛会（労働者団体）設立に関与し同会顧問に就任、1919（大正8）年、渋沢栄一や徳川家達（徳川宗家第16代当主）らを中心に設立された労使協調の調査機関である協調会に参加、・・・」と記されています。また、10頁の「添田寿一を知る」（左下写真）は、写真で添田寿一の記念碑や胸像、手紙などを紹介しています。



友愛会創業者・鈴木文治は著書『労働運動20年』（1931年原本発行）で、「法学博士添田寿一氏は、大正3年の暮れになって、顧問の一人に加わられたのであるが、博士こそ終始一貫、おそらく昭和4年その長逝の直前まで、常に友愛会—総同盟—の発展のために—労働階級の合理的向上のために、特に労働運動者としての私自身の相談相手となり、指導者となり、有力な援護者となってくださった方であった。」と最大級の感謝の言葉を述べています。

続けて鈴木文治は添田寿一と初めて出会った大正3年の社会政策学会例会や、添田に「日本興業銀行総裁の地位を投げ捨て、友愛会会長に就任して欲しい」と要請したこと、その後に添田が友愛会顧問に就任した経緯などを記述しています。さらに鈴木は「講演会、懇話会等には御都合のつく限り、かなりの片いなかまで弁当持参で出掛けられ、公私の各方面への紹介の労もとって下さった。大争議等の場合には、博士には隠れたお力添えも願った。室蘭製鋼所の争議の折には、殊に御尽力を煩わしたが、解決（実は労働者側の惨敗）に当たっては、当時、報知新聞の社長であった博士は、自ら筆をとって社説欄に論評を下し、友愛会の弁護を試みられた位である・・・」と感謝の意を表しています。なお、当館は『広報おんが』「添田寿一特集」のJPGデータを所有しています。ご希望の方は友愛労働歴史館までEメールで申し込んでください。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」

発行：友愛労働歴史館

責任者：徳田 孝蔵

担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

TEL050-3473-5325

Eメール yuaireodrekishikan@rodokaikan.org

HP <http://www.yuaireodrekishikan.com>

唯一館から125年、友愛会から107年